

## 教職員研修を行いました

8月25日（金）、浄土真宗本願寺派 極楽寺 前任職 麻田 秀潤 様を講師にお迎えし、人権教育、同和教育研修を行い、部落問題の実際と、現在の差別の問題について次のようなお話をいただきました。

差別した人に話を聞くと「そんなつもりはなかった（悪意はなかった）」と答える人が多く、自分が差別をしていることが分からずに行うケースが多い。差別をすることはいけないことはもちろん、差別をすることはどういうことなのかを生徒に認識させることが必要である。

差別には、①命令者、②加害者、③被害者、④傍観者（ただ見ている人）の4つの立場がある。40人のクラスで言えば、①命令者、②加害者、③被害者が10人で、残りの30人が④傍観者である。差別には「第三者」的な立場はなく、被害者になれば、傍観者も加害者である。傍観者の中から勇気を持って差別を止めるよう声を上げられる人になることが大切である。

本校では10月24日（火）、生徒対象にLGBTに関する内容で人権教育、同和教育講演会を行います。また、2学期中にLHRで「生きるV」を教材として授業を行います。

